

平成 29 年度島根大学大学院  
教育学研究科入試問題（I 期）  
《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 2 枚である。  
指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。



平成 29 度教育学研究科入試（I 期）

問題訂正

(教育実践開発専攻)

問題訂正

3 行目

(誤)

高等学校指導要領

(正)

高等学校学習指導要領

# 《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

## 小論文 問題

---

近年、各教科等の指導においては、児童・生徒が学習の見通しを立てたり学習したこと振り返ったりする活動が重要視されている。実際、平成 20 年に改訂された小学校学習指導要領ならびに中学校学習指導要領、平成 21 年に改訂された高等学校指導要領ならびに特別支援学校学習指導要領等のそれぞれにおいて、見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動が求められている。

そこで、このような見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動が重要視されるようになった背景、およびその意義と課題について論じなさい。さらに、教科等の指導における見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の具体例をあげ、予想される効果について、学校種と教科等を明示した上で論じなさい。

以上のことに関して、1200 字程度（1100～1300 字）で答えなさい。